

### 講座の目的

- 発明を見る目を養う
- 発明を法的空間で把握し、議論することができる
- 発明をクレームに特定できる
- 明細書を書くことができる

### 必要な能力

- 技術を理解する能力
- 事実関係から法的関係に昇華する能力
- 事実関係を多角的に見る目
- 気配り・目配り
- 法的空間での抽象化された議論（発明思想と具体的技術との立て分け）
- 論理思考（技術的論理思考と法的論理思考）
- 表現能力

### 抽象化議論



多角的な目（視野の広さ）

例えば、下記のような問いに答えられる能力がある方がよい。

以下に示す 9 個の を 4 本の直線で結べ。どの時点でも紙面からペンを離してはいけないが、描いた直線を横切ってもよい。

